



2026年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年9月12日

上場会社名 株式会社菊池製作所 上場取引所 東
コード番号 3444 URL <http://www.kikuchiseisakusho.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊池 功
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 岸田 俊邦 (TEL) 042(649)5921
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年4月期第1四半期の連結業績(2025年5月1日～2025年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年4月期第1四半期	1,191	2.4	△315	—	△229	—	△183	—
2025年4月期第1四半期	1,163	7.6	△255	—	△296	—	△320	—

(注) 包括利益 2026年4月期第1四半期 △104百万円(—%) 2025年4月期第1四半期 △340百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年4月期第1四半期	△15.17	—
2025年4月期第1四半期	△26.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年4月期第1四半期	8,082	5,238	61.5
2025年4月期	8,563	5,404	59.2

(参考) 自己資本 2026年4月期第1四半期 4,972百万円 2025年4月期 5,063百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年4月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2026年4月期	—	—	—	—	—
2026年4月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年4月期の連結業績予想(2025年5月1日～2026年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,470	9.2	△572	—	△340	—	△110	—	△9.1
通期	5,972	9.5	25	—	247	—	159	269.7	13.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年4月期1Q	12,337,700株	2025年4月期	12,337,700株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年4月期1Q	258,284株	2025年4月期	258,284株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年4月期1Q	12,079,416株	2025年4月期1Q	12,079,416株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善等により、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、継続的な物価上昇や米国の関税政策、世界各地における政情不安、原材料価格やエネルギー価格の高止まり及び中国における景気の低迷等、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの売上高及び受注の状況は、前連結会計年度後半から徐々にではありますが、回復の兆しを見せております。当社の主要顧客であるデジタルカメラ、時計、事務機器等の精密電子機器メーカーからの受注が増加となりました。自動車関連部品メーカー等の研究開発及び生産状況は、顧客の開発意欲は回復傾向にあるものの米国における関税政策等を含め現状市場動向が見極めきれない状況ではないかと思われ、今後の動向を注視しています。また、ホビー関連などの新規取り組み分野に受注の拡大も見られ、今後の受注増加に期待しているところであります。しかしながら、試作品製造・金型製造及び量産品製造の受注・生産の状況は一部メーカーを中心に前期比増加となりましたが、全般的にはまだ受注状況は、安定しておらず先行きが見通せない状況が続いております。ロボット・装置関連製品については、サポート・サービスロボット分野などのスタートアップ企業への出資なども含めた包括事業化支援を掲げた取り組みにより、受託開発や受託製造の引き合いは引き続き拡大しており、特に販売・量産フェーズの支援に注力しております。販売面については市場ニーズの高まりも見られ前期比増加となりましたが、各社開発・製品化への取り組み速度が上がらず、ロボット・装置関連製品の売上高は計画を下回りました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,191百万円(前年同四半期比2.4%増)となり、利益面につきましては、売上総利益は113百万円(前年同四半期比39.8%減)、営業損失315百万円(前年同四半期は営業損失255百万円)となりました。以下、受取配当金等の営業外収益129百万円(同430.2%増)を加算し、投資事業組合運用損25百万円、持分法による投資損失12百万円等の営業外費用43百万円(同33.6%減)を減じた結果として、経常損失は229百万円(前年同四半期は経常損失296百万円)となりました。さらに、投資有価証券売却益等の特別利益10百万円、減損損失等の特別損失11百万円を計上しました。

これに税金費用を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は183百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失320百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産に関する事項

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、8,082百万円となり、前連結会計年度末比481百万円の減少(前連結会計年度末比5.6%減)となりました。うち、流動資産は、4,408百万円となり、前連結会計年度末比596百万円の減少(同11.9%減)となりました。これは、現金及び預金が571百万円減少(同23.3%減)したことが主因となっております。固定資産は、3,673百万円となり、前連結会計年度末比115百万円の増加(同3.2%増)となりました。これは、投資有価証券が135百万円増加(同7.2%増)したことが主因となっております。

負債合計は、2,843百万円となり、前連結会計年度末比315百万円の減少(前連結会計年度末比10.0%減)となりました。うち、流動負債は、1,055百万円となり、前連結会計年度末比389百万円の減少(同27.0%減)となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が398百万円減少(同93.4%減)したことが主因となっております。固定負債は、1,788百万円となり、前連結会計年度末比73百万円の増加(同4.3%増)となりました。これは、繰延税金負債が69百万円増加(同26.4%増)したことが主因となっております。

純資産は、5,238百万円となり、前連結会計年度末比165百万円の減少(同3.1%減)となりました。これは、その他の包括利益累計額が142百万円増加(同26.2%増)しました一方、利益剰余金が304百万円減少(同95.7%減)したことが主因となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

米国における関税政策や世界各地における政情不安、中国経済の不透明感が国内外への経済活動に与える影響が続いていることや、継続的な物価上昇、急激な為替変動や株価の乱高下等もあり、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況ではありますが、国内主要顧客の開発・生産意欲は緩やかながら回復傾向が見られ、当社グループは多様な加工コア技術で開発試作品製作から製品量産製造に至る「一括一貫体制」を強みとして、組織統合、製販連携による生産部門の稼働率の向上を実施し、更なる短納期のアピールに注力しております。ホビー関連などの新規取り組み分野では受注の拡大も見られ、受注状況に回復の兆しが見られ、今後の更なる受注の増加を期待しているところであります。ロボット・装置関連製品については、サポート・サービスロボット分野などのスタートアップ企業との製品を、新たに福島市に開設した「おおぞう研究所」において実証を推進するとともに、各スタートアップ企業の顧客網を共有するクロスセルで販売力を強化するなどして、普及支援の強化に取り組みます。これまでのスタートアップ連携をさらに強固なものとして、製品製造・販売・保守・運用サービス等の包括事業化支援を推進して、収益機会の拡大を図ります。さらに、人件費や拠点運営費用などの固定費圧縮の取り組み、関係会社の研究開発においては公的資金を獲得し、費用を制限しながら効率的に実施するなどに取り組んでいくことで、収益面の改善を推進します。今後も前述の市場環境の影響を受けるものと思われませんが、2025年6月13日の公表時に入手可能な情報に基づき業績予想を策定しており、現段階での数値に変更はありません。

なお、当社グループの業績は、事業環境の変化等、現在及び将来において様々なリスクにさらされております。本業績予想に織り込まれていない事象が発生し、財務上重要な影響があると判断した場合には、適宜ご報告いたします。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループの業績は、試作・金型製品において、従前のコンシューマエレクトロニクス分野における新規開発案件が継続して減少している環境下において、新規分野の開拓に一定の成果は見られるものの、依然として付加価値の高い新規開発案件数の増加は限定的で、案件は引き続き価格競争に晒され厳しい状況が継続しておりますが、営業活動の強化により、受注状況が改善し始め、売上高は前年比微増となりました。

また、拡大に注力しているロボット・装置等含めた新規取り組みにおいては、受託開発や受託製造の引き合いは拡大しております。特に販売・量産フェーズの支援に注力しておりますが、各スタートアップの量産フェーズへの移行は限定的であり、売上高はほぼ横ばいとなっております。

この結果、営業損失の発生が継続しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社は、当該状況を解消すべく、継続的な営業活動量の増加、新規分野開拓、安定収益層拡大のため量産製品分野の拡大等による受注拡大の施策を推進するとともに、製販連携による生産部門の稼働率の向上、人件費や拠点運営費用などの固定費圧縮の取り組み、関係会社の研究開発においては公的資金を獲得し、費用を制限しながら効率的に実施するなどに取り組んでおります。資金面では、保有する上場有価証券等を有効利用することにより、充分な手当てが出来るものと認識しており、重要な資金繰りの懸念はありません。

なお、金融機関から財務制限条項が付され借入していたタームローンについては、2025年6月末に全額完済しております。

以上の状況により、継続企業の前提に重要な不確実性は認められないと判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,452,512	1,880,686
受取手形	6,853	20,545
電子記録債権	328,447	345,434
売掛金	983,454	1,046,769
契約資産	77,479	64,578
商品及び製品	183,298	174,941
仕掛品	262,856	275,100
原材料及び貯蔵品	220,731	202,728
その他	515,314	424,995
貸倒引当金	△25,252	△27,055
流動資産合計	5,005,696	4,408,724
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,073,505	3,072,797
減価償却累計額	△1,747,949	△1,762,205
減損損失累計額	△479,988	△479,988
建物及び構築物（純額）	845,567	830,602
機械装置及び運搬具	3,570,789	3,534,039
減価償却累計額	△3,178,270	△3,152,481
減損損失累計額	△212,648	△212,648
機械装置及び運搬具（純額）	179,870	168,909
工具、器具及び備品	760,010	767,442
減価償却累計額	△680,808	△686,853
減損損失累計額	△26,104	△26,104
工具、器具及び備品（純額）	53,097	54,484
土地	465,389	471,017
建設仮勘定	-	1,226
その他	28,177	28,177
減価償却累計額	△11,526	△12,935
その他（純額）	16,650	15,241
有形固定資産合計	1,560,576	1,541,483
無形固定資産		
ソフトウェア	4,859	11,494
その他	3,237	3,231
無形固定資産合計	8,097	14,726
投資その他の資産		
投資有価証券	1,888,404	2,023,834
長期貸付金	1,176	-
その他	100,620	94,600
貸倒引当金	△790	△785
投資その他の資産合計	1,989,411	2,117,649
固定資産合計	3,558,084	3,673,859
資産合計	8,563,781	8,082,584

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	150,705	228,560
電子記録債務	214,954	198,113
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	425,998	27,996
未払金	148,573	145,039
未払費用	77,926	93,854
未払法人税等	49,972	4,087
契約負債	10,536	-
前受金	13,329	13,394
賞与引当金	81,440	38,920
預り金	26,684	52,544
その他	44,686	52,852
流動負債合計	1,444,807	1,055,364
固定負債		
長期借入金	186,652	179,320
役員退職慰労引当金	401,855	402,610
退職給付に係る負債	31,358	33,942
資産除去債務	9,293	9,306
繰延税金負債	264,870	334,703
持分法適用に伴う負債	804,592	814,554
その他	16,214	14,068
固定負債合計	1,714,836	1,788,506
負債合計	3,159,644	2,843,870
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,303,843	1,303,843
新株式申込証拠金	10,000	-
資本剰余金	3,096,268	3,166,268
利益剰余金	317,610	13,577
自己株式	△198,939	△198,939
株主資本合計	4,528,783	4,284,749
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	471,444	637,778
為替換算調整勘定	72,980	49,374
退職給付に係る調整累計額	741	710
その他の包括利益累計額合計	545,166	687,863
非支配株主持分	330,187	266,101
純資産合計	5,404,137	5,238,713
負債純資産合計	8,563,781	8,082,584

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)
売上高	1,163,165	1,191,590
売上原価	974,374	1,077,863
売上総利益	188,791	113,727
販売費及び一般管理費	444,153	429,376
営業損失(△)	△255,361	△315,649
営業外収益		
受取利息	46	366
受取配当金	19,374	22,273
助成金収入	-	97,475
その他	4,984	9,282
営業外収益合計	24,405	129,397
営業外費用		
支払利息	10,989	3,429
為替差損	11,397	-
持分法による投資損失	6,283	12,154
投資事業組合運用損	33,669	25,204
その他	2,821	2,499
営業外費用合計	65,161	43,287
経常損失(△)	△296,117	△229,539
特別利益		
投資有価証券売却益	-	9,409
固定資産売却益	-	163
持分変動利益	-	504
特別利益合計	-	10,077
特別損失		
投資有価証券評価損	-	5,129
固定資産除却損	0	-
減損損失	32,067	6,387
特別損失合計	32,068	11,517
税金等調整前四半期純損失(△)	△328,185	△230,979
法人税、住民税及び事業税	8,943	12,783
法人税等調整額	△16,670	3,563
法人税等合計	△7,727	16,347
四半期純損失(△)	△320,458	△247,326
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△64,086
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△320,458	△183,239

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)
四半期純損失(△)	△320,458	△247,326
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△78,275	166,333
為替換算調整勘定	58,502	△23,606
退職給付に係る調整額	△37	△30
その他の包括利益合計	△19,809	142,696
四半期包括利益	△340,267	△104,629
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△340,267	△40,543
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△64,086

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業は、「金属製品加工事業」の単一セグメントであるため省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)
減価償却費	38,561千円	34,112千円